

原木及び木材製品の流通に関する見通し調査(令和3年6月実施分)

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m3以上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:102)
2. 調査実施時期 令和3年6月
3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査

4. 企業判断指数の算出方法

[(回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%)) - (回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%))]
(最大値100/最小値-100)

5. 調査結果(回答工場数:79社 / 回答率:77.5%)

【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12
R2.9	29	<i>11</i>	<i>8</i>	-	-	-
R2.12	-	-5	<i>-2</i>	<i>-10</i>	-	-
R3.3	-	-	-40	<i>-40</i>	<i>-37</i>	-
R3.6	-	-	-	-47	<i>-56</i>	<i>-51</i>

(概況)
ウツショックの影響により道産木材需要急増に伴い原木在庫量は減少。7月以降も前年を大きく下回る見通し

(回答企業の主なコメント)
道産木材需要急増で原木不足/価格上昇/公売に期待/近場で集まらず/造材事業者減少で伐採少量/道外移出の状況で変わる/素材生産前年並み/製品に先行し原木価格上昇/原木の動きが良くなってきた

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m3)

	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12
当年	195,021	148,160	140,118	-	-	-
(前年)	177,410	152,805	193,380	204,586	195,021	148,160
対前年比	110%	97%	72%	-	-	-

【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12
R2.9	-82	<i>-84</i>	<i>-74</i>	-	-	-
R2.12	-	-67	<i>-71</i>	<i>-58</i>	-	-
R3.3	-	-	-37	<i>-17</i>	<i>-5</i>	-
R3.6	-	-	-	63	<i>54</i>	<i>40</i>

(概況)
原木消費量は前年並み。7月以降もウツショックの影響による代替需要で製品荷動きは前年を上回る見通し

(回答企業の主なコメント)
新規問合せ増も対応に限界/製品全般で品薄/回復傾向/国産材への転換で受注増/品薄は年内続くが輸入材次第/単に輸入製材の入荷不足であり1月には状況変化/秋口以降受注落ち着く/荷動き活発化の見通し

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m3)

	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12
当年	176,723	192,692	179,009	-	-	-
(前年)	212,330	221,166	181,768	186,163	176,723	192,692
対前年比	83%	87%	98%	-	-	-

【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12
R2.9	18	<i>9</i>	<i>-2</i>	-	-	-
R2.12	-	-21	<i>-21</i>	<i>-29</i>	-	-
R3.3	-	-	-37	<i>-49</i>	<i>-51</i>	-
R3.6	-	-	-	-47	<i>-58</i>	<i>-53</i>

(概況)
原木在庫量は減少傾向。製品需要の増加により7月以降も前年を大きく下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)
入荷量減少/原木不足/素材生産は前年並み/現状は入荷順調/製品に先行し原木価格上昇/公売に期待/道産木材需要急増で不足/冬季に原木の積み増しができなかった影響/造材事業者減少で伐採少量

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m3)

	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12
当年	280,015	229,930	242,162	-	-	-
(前年)	237,959	218,917	254,678	284,236	280,015	229,930
対前年比	118%	105%	95%	-	-	-

【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12
R2.9	-87	<i>-84</i>	<i>-64</i>	-	-	-
R2.12	-	-65	<i>-71</i>	<i>-51</i>	-	-
R3.3	-	-	-20	<i>10</i>	<i>10</i>	-
R3.6	-	-	-	80	<i>73</i>	<i>44</i>

(概況)
原木消費量は前年並み。産業用資材の回復や輸入材の代替需要等により、7月以降前年を大きく上回る見通し

(回答企業の主なコメント)
注文や新規問合せ増/ラミナはコロナ禍前に回復/国産材転換で受注増/製品荷動きは活発化の見通し/需要増も先行き不透明/若干回復も一昨年前より鈍い/パレット・梱包材回復/原木確保困難で生産増やせない

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m3)

	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12
当年	204,317	225,130	223,826	-	-	-
(前年)	276,138	259,279	227,922	205,643	204,317	225,130
対前年比	74%	87%	98%	-	-	-

道内の木材需給の見通し（令和3年6月調査分）

—令和3年8月公表—

北海道水産林務部林務局林業木材課
北海道森林管理局森林整備部資源活用第一課

原木在庫・製品荷動き 前年同時期と比較した製材・合板工場の見通し（原木及び木材製品の流通に関する調査（北海道）による）

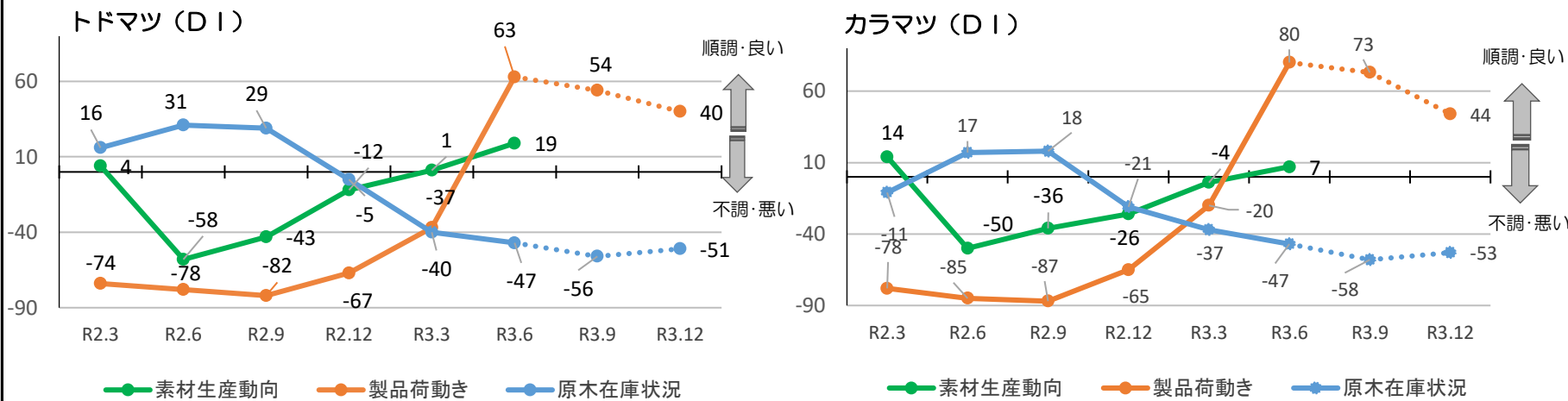
	《4~6月》	《7~12月見通し》		《凡例》
トドマツ			○製材、合板工場の「原木在庫」は減少傾向で前年を下回っており、7月以降は前年を大きく下回る見通し。	《原木在庫》 《前年を上回る》 《前年並み》 《前年を下回る》
			○製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量での判断では前年並みとなっており、7月以降は輸入材の代替需要等により前年を上回る見通し。	
カラマツ			○製材、合板工場の「原木在庫」は減少傾向で前年を下回っており、7月以降は前年を大きく下回る見通し。	
			○製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量での判断では前年並みとなっており、7月以降は産業用資材の回復や輸入材の代替需要等により前年を大きく上回る見通し。	

素材生産動向 前月と比較した林業事業体の見通し（素材生産動向調査（北海道森林管理局）による）

	《4~6月》	《7~12月見通し》		《凡例》
トドマツ			○「素材生産動向」は「順調」39%、「並み」50%、「不調」11%となっており、順調の見通し。	《順調》 《並み》 《不調》
カラマツ			○「素材生産動向」は「順調」30%、「並み」54%、「不調」16%となっており、並み程度の見通し。	

素材生産と製材・合板工場の原木在庫・製品荷動きのDI
 ○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数
 ○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し

※「判断指数（DI）」＝（「順調・良い」とした比率（％））－（「不調・悪い」とした比率（％））

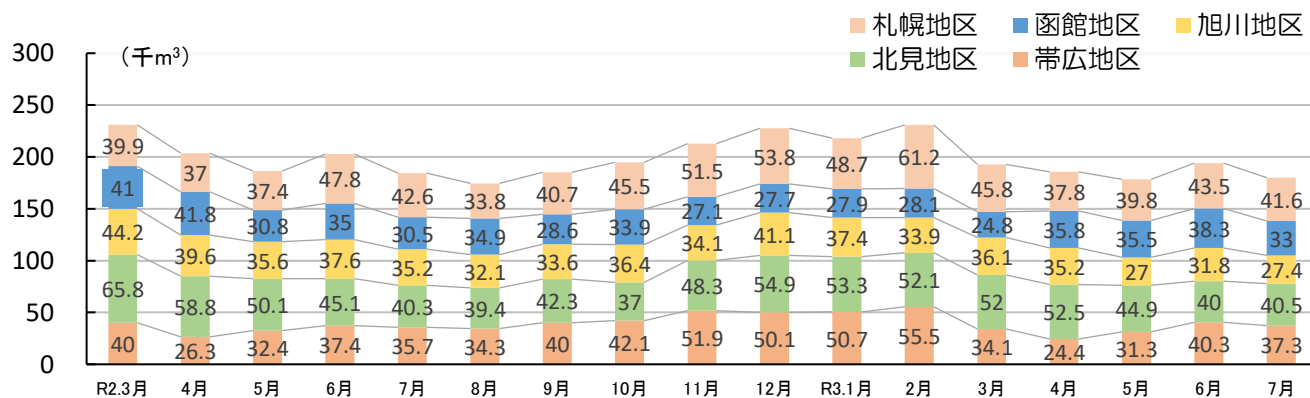


《参考情報》

注：回答のあった北海道登録林業事業体の数値で全道の素材生産量の合計数値ではありません。

素材生産量の推移

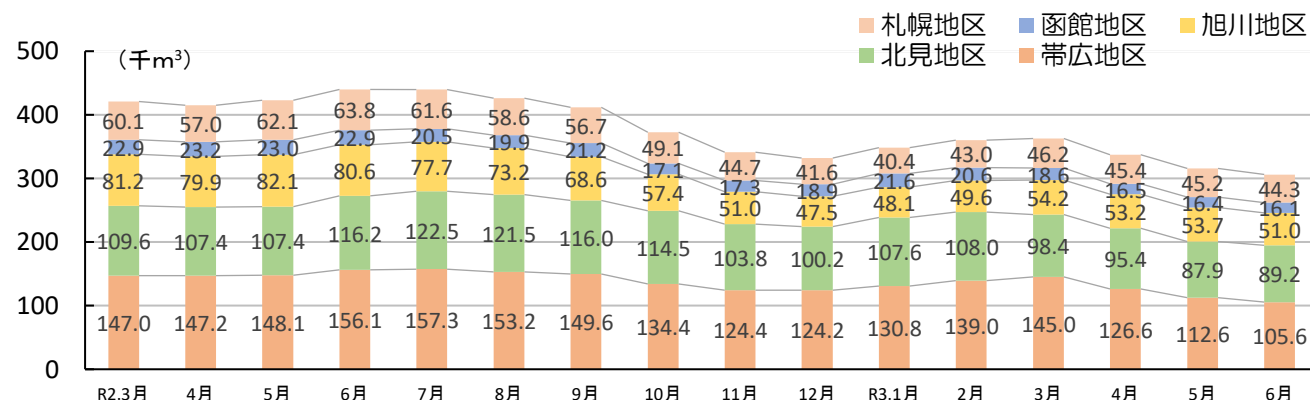
- 6月の素材生産量は前月比15.4千m³増の193.9千m³
- 7月の素材生産量は14.1千m³減の179.8千m³の見通しで、北見以外の地区で減る見通し



出典：素材生産動向調査（北海道森林管理局）による

製材工場の原木在庫量の推移

- 6月のトドマツ原木在庫量は前年同月に比べて減少し、原木消費量は前年同月並みの見込み
- 6月のカラマツ原木在庫量は前年同月に比べて減少し、原木消費量は前年同月を上回る見込み



出典：製材工場動態調査（北海道）による

注：道内のカラマツ、トドマツ製材工場の合計数値でR2.3~6月は速報値でエゾマツを含む

素材生産と原木在庫・製品荷動きのDI (地区別)

○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し
 ○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数

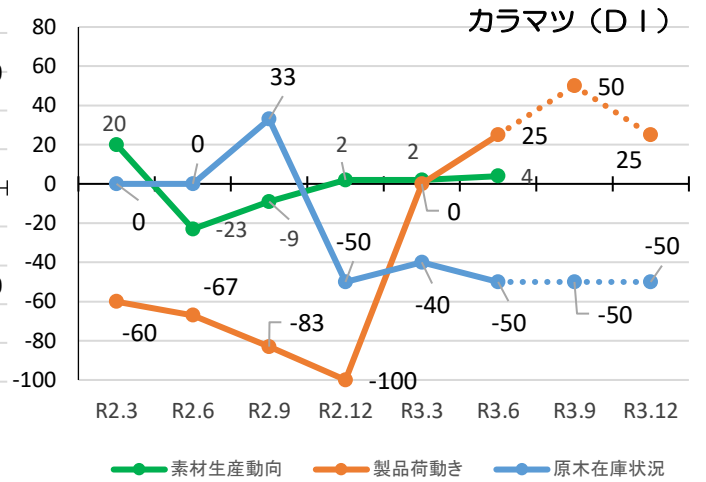
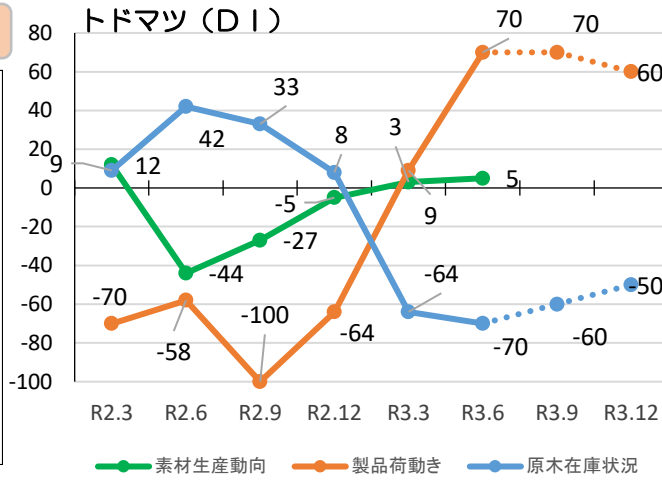
札幌地区 (石狩・空知・胆振・日高)

【トドマツ】

- ・素材生産は、やや順調の見通し
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を大きく上回る見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、並み程度の見通し
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を上回る見通し



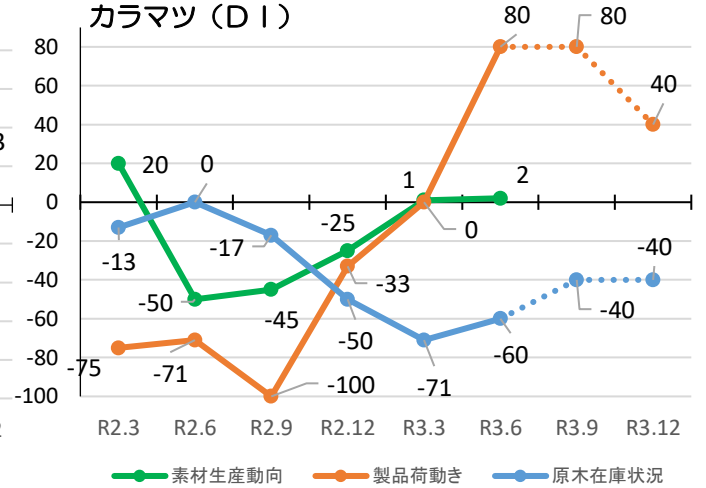
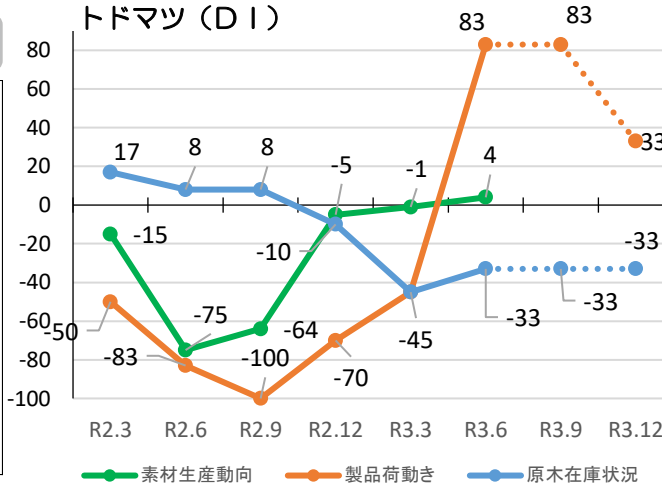
函館地区 (渡島・檜山・後志)

【トドマツ】

- ・素材生産は、並み程度の見通し
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を大きく上回るもやや下降の見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、並み程度の見通し
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を大きく上回るもやや下降の見通し



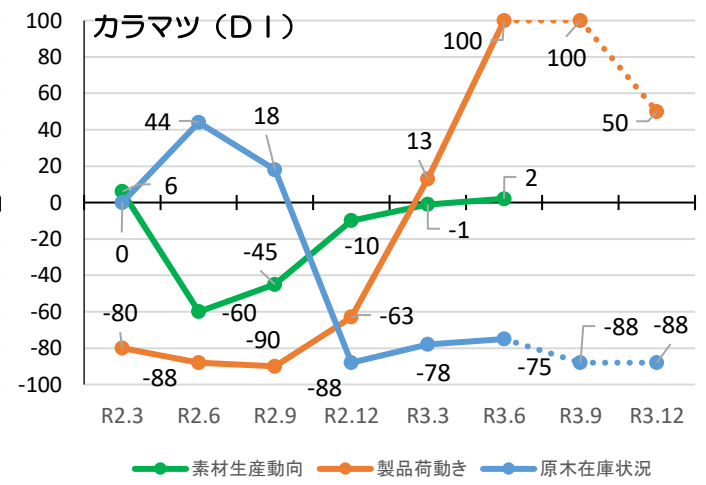
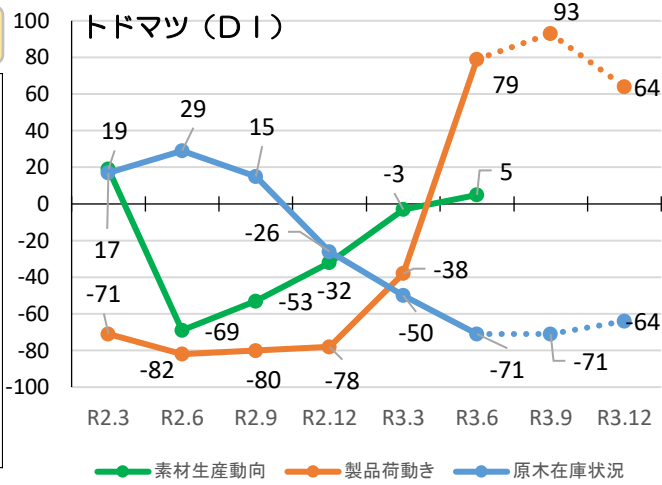
旭川地区 (上川・留萌・宗谷)

【トドマツ】

- ・素材生産は、やや順調の見通し
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは大きく上下回る見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、並み程度の見通し
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を大きく上回るもやや下降の見通し



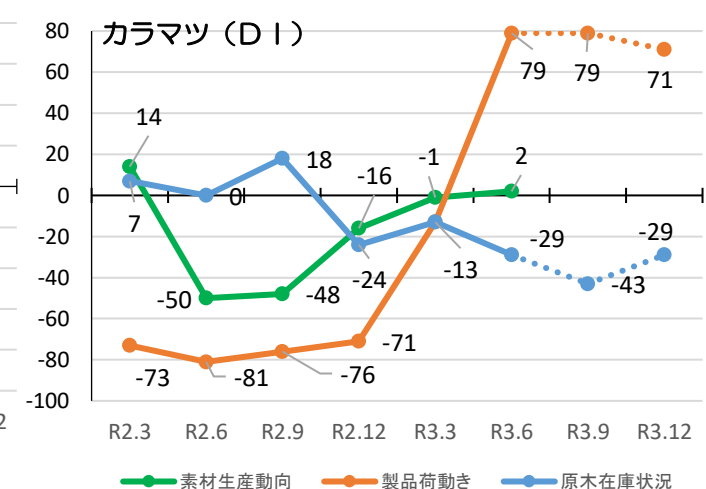
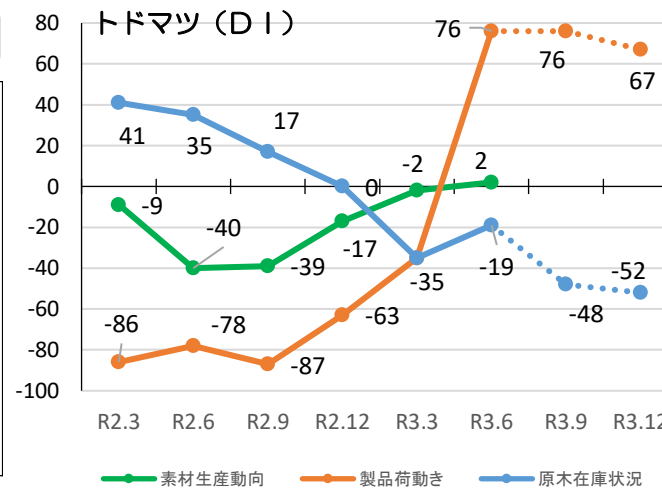
北見地区 (オホーツク)

【トドマツ】

- ・素材生産は、並み程度の見通し
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を大きく上回る見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、並み程度の見通し
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を大きく上回る見通し



帯広地区 (十勝・釧路・根室)

【トドマツ】

- ・素材生産は、並み程度の見通し
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を若干下回る見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、やや不調の見通し
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を大きく上回るも下降の見通し

